



フォレスト・ニュース

フォレスト若松
No.10 (不定期発行)
平成16年12月18日



今年の学部祭は、バージョン・アップ！

10月31日(日)には、第37回の理工学部祭に行ってきましたよ。

なんか、ワタシの印象では、今年の学部祭は、グンとバージョンアップした感じがありましたね。まず訪れたのが、正門近くのテクノプレース棟。ここでは、学内をコース別に見学できる催しの参加を募集していました。大学の先生の持つ三角旗にくっついて、ハトバスの観光客みたいに学内の施設を見てまわったのですが、いやあ、おもしろかった。こんなスゴイ施設がココにあったなんて、驚きの連続でしたよ。「これほど大掛かりな実験装置をたくさん入れて、随分と費用がかかったでしょう」と俗っぽい感想を思わずもらすと、「大学だって、これからは生き残りをかけて戦う時代なんですよ。」と、引率してくれた先生は、ふと燃える闘魂の眼をしたのでした(!)



先端材料科学技術センターでは、電子顕微鏡装置の前で、207号室の望月君にバツリ。次々来る見学者に説明をしていました。なんか頼もしい感じがしましたヨ。

次に行ったのは、大型構造物試験棟。地震を体感する装置に乗ったんですが、ホトホトすごかった。「新潟中越地震クラスです。」と、スイッチが押されるとグウラグウラ揺れるんですが、足を踏ん張って手すりにシッカリつかまっても、はじき飛ばされそうな勢いなのです。こんなのが、突然襲ってきたら、どんなにか怖かったろうと、新潟で被災した人々のことを思わずにはいられません

でした。学内には、免震構造、耐震構造の棟もあり、地震に関する取り組みへの熱意を感じます。自然災害の多い昨今、こうした研究が実を結んで、少しでも安全な建物が増えていったらいいですね。

学内を歩いていると、以前にはなかったシャレタ建物がありました。14号館です。ガラス面が多く、代官山あたりにありそうな、都会的雰囲気。でもこれも、ソーラーチムニーや、太陽光発電、屋上緑化など、理系らしく、一筋縄ではいかない仕掛けが、ちゃんとありました。

学内の目立たない片隅にあった物理実験B棟には、X線解析装置という、なにやら複雑そうな設備が・・・院生が、とても丁寧に説明してくださるのですが、ようやく理解できたのは、精密機械の故障の原因を、ピタリと念力で当ててしまう装置らしい(ウソです)。ちゃんと言うと、例えば半導体の非破壊検査が可能で、いわば人のお腹の中を切ってみなくても、レントゲンを使えば、病巣がわかるのと同じような原理なのだということ。これは、基礎研究にとって欠くことのできない装置だそうで、他大学や企業の研究者もここに借りにくるそうです。

空気力学実験センターには、ものすごく大掛かりな風洞実験装置があり、航空機や自動車などの空力特性などを

調べています。どんな形にしたら、最も風の抵抗をなくして効率よく走ったり飛んだりできるかを調べたりするんでしょうね。なかなかロマンを感じる装置です。「ナウシカはよく風をよむ・・・」なんて言ったりして。

室内には、スキーのジャンプスーツを着た等身大の人形がころがってました。ジャンプスーツに風をあてて、どんな素材が一番空気抵抗が少ないのかを調べているとのこと。



そういえば、オリンピック選手のウエアがしばしば話題になりますが、こういう地味そうな研究が、日本選手の活躍を支えているのかも、と思いましたね。

他にも色々いっぱい、スゴソウな装置がありましたが、また来年の学部祭を楽しみに、すみやかに、空腹の胃袋を刺激する、焼き鳥の煙ただよう模擬店へと移動したのでした。



(風洞実験室の一部)

先輩は、フォレスト若松のおタカラです。

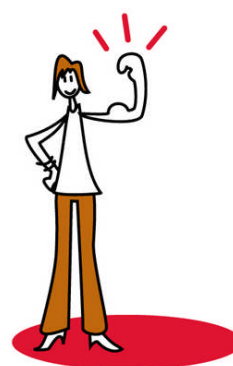
11月14日、秋の食事会を開きました。

春に顔あわせ会を開いていたせい、始めから、あまり緊張もせず、フランクな雰囲気なかでスタート。

今回は、マンネリ打破のコンセプトのもとに、料理は、少量多品種を心がけることにしました。それにしても若者の食欲というのはスゴイ！種類を多くしたせいで、次から次と調理にめまぐるしく、ヤッパリ次からは、多量少品種にしとこうって思い直しました。

出席者の院生とは、研究室のことや、就職に関する話題がでて、1、2年生は、始めのうちは神妙な顔をして聞いていましたが、そのうち「進級出来るかどうかで、手一杯つすよう」という悲鳴のような声が・・・ホントに理系は、勉強大変ですよ。わかります。でも、先々のイメージを持つだけで、今現在の生き方って変わってくるし、それが大切なんです。そういう意味では、先輩の言葉によく耳を傾けておいてください。いつかきっと役に立ちますから。

現在いる院生は、フォレスト若松のオープンの時入寮し、今年で5年目、後輩にもいいアドバイスをくれる、良き兄貴分です。来年からは就職活動に、本腰を入れるのですが、希望にそった就職ができるよう、お祈りしてます。



マチガイナイ・・・健康貯金は、やるべきだ！

貯金って、やりたいけどなかなかできないもののうちのひとつですよ。節約したり、バイトをしたり、頑張るんだけど、お金ってツイツイ使ってしまう。それに、たとえ一生懸命貯めても、盗まれたり、なくしたりすることだってありうるし、インフレになれば、貨幣価値そのものが変わる可能性すらあります。

でも健康貯金だけは、貯めた分だけ、確実に自分のためになるし、絶対に盗られたり、なく

したりってことはありません。エッ、健康貯金って、聞いたことないって？そうでしょう、そうでしょう、なにせ管理人が今作ったばかりの言葉なんですから・・・

皆さんは、実は、この世におぎゃーと生まれた時、両親から、「健康な身体」という莫大な財産を相続しているのです。そして、それを使い果たしてボロボロにしてしまうか、それとも更に磨いてリッチなものにするのかは、すべてあなた次第なのです。

たとえば、暴飲暴食や不規則な生活が続けば、貯金額は減っていくし、健康的な食生活と、適度な運動を心がければ、貯金は増えて「お金持ち」になれます。そして貯金が多ければ、人生の大事な場面で思い切り力を発揮できるし、可能性も広がるでしょう。でも貯金がなくなれば、医療費もかかるだろうし、先々あちこち具合が悪くなって、快適な生活を送ることができなくなるかもしれません。

健康金持ちめざして、サー、ハッスル、ハッスル！

そこで、皆さんの健康貯金をふやすのに役立つ情報を、これからも当新聞を通じて、お届けしていききたいと思います。

シングル・クッキング

ひとり暮らしだと、ツイツイ食事作りがおっくうになってカップめんや、コンビニで間に合わせちゃいますよね。そんなあなたに、手軽でヘルシーなお助け食品をご案内しましょう。

とがなくて済む無洗米は、今やシングルの常識ですが、それプラス発芽玄米ってのは、如何でしょう。発芽玄米に含まれるギャバという成分は、免疫力を高め、たくさん含まれている食物繊維が、たまった毒素を排泄してくれます。炊飯器で普通に炊けますが、あまり多く入るとポソポソするので、まずは白米を炊く時、片手に握ったぶん位の少量を加えてみてください。



スパゲッティも、長すぎて茹でるのに面倒だという人がいます。

でしたらサラスパなんか、いかがでしょう。これだと小ナベでも充分おさまるし、細いのでスグ茹であがります。フライパンに油を入れ、ニンニク、ピーマンやキノコ、玉ねぎのスライス等を炒め、これに市販のスパゲッティ用ソースを加えます。茹であがったサラスパをマゼマゼしたら、立派なランチのできあがり！レタスやプチトマトを周りにかざれば、更にバランス・アップで、おうちで、カフェ気分できそうです。



Always Vegetable(いつも野菜を！)

一人暮らしだとキャベツや白菜は、使っているうちにダメになってしまい、ゴミにしてしまうのもなんか気がひけます。その結果、やっぱり外食が楽でいいや、となりがち。

そんなキミにお勧めです。常備する野菜には、保存のきく玉ねぎ、切って炒めるだけで緑あざやかなピーマン、そのまま食べられるプチトマト、水に戻してしぼるだけでOKのワカメなどはいかが？急いで使わなくても、腐ったり枯れたりしにくいところが気楽です。

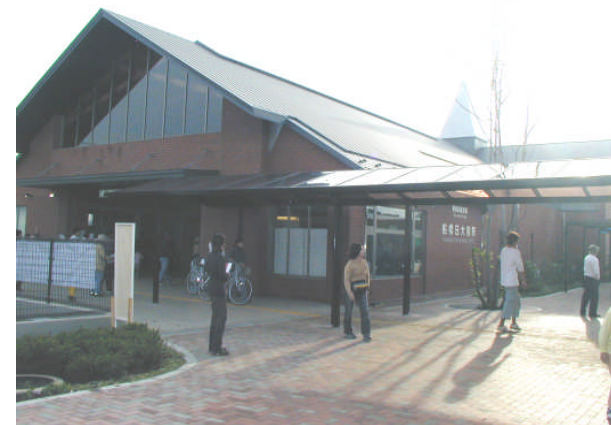
あなどれない、テレビ番組「ご近所の底力」

NHKのテレビ番組、「ご近所の底力」って御存知でしたか。先日、こんなテーマをとりあげていました。新潟県に燕市という、スプーンやフォークなどの金属製品の製作で有名な地域があるんですが、案の定、最近の不景気で需要もサッパリ。金属のみがきでは、世界に冠たる技術を持つる人もこのままでは、廃業の危機に・・・そこでご近所同士でスクラムを組み、「みがき屋シンジケート」という組織を立ち上げました。

ところが、職人集団ですから、売り込みの営業など、まったく素人です。そこで、その道の達人が彼らに極意を伝授します。色々画期的な方法を教わるんですが、なかでもコレハ、と感じ入ったのは、一方的に自分の技術力を売り込むだけではダメ、相手が何を知らたがってるかをキャッチして、その情報を提供することだ、とコツを伝授していました。

これって、色々なことに応用できますよね。たとえば、就職活動の時、ステキな彼女をゲットしたい時e t c・・・自分を相手に売り込む時、つい自分の長所を伝えることばかりに熱心になってしまいます。でも相手が興味を持っていること、知りたいことは何なのかをまず研究し、そのニーズに応えられる自分をアピールすることが肝心なのではないでしょうか。覚えときましょう！

めぶ もり 芽吹きの杜、誕生



メルヘンチックな雰囲気の東口の駅舎

理工学部祭で賑わっていた同じ日に、駅東口のほうでは、「芽吹きの杜」のまちびらきイベントがとりおこなわれていました。周辺には、まるで住宅展示場のようなシャレタ家々が・・・フォレスト若松のまわりは、まだまだ空き地ですが、2階から見おろすと、住宅地が、次第にこちらに迫りつつあるのが良くわかります。



荒野に続々と建築される住宅群

今年も、いよいよ押し迫ってまいりました。

どうか風邪などひかないよう、身体に気をつけてください。

また、もし熱が出るなど具合が悪くなった時は、管理人のほうに遠慮なくお申し出ください。